

「千里金蘭大学紀要」一〇〇周年記念号の発刊にあたって

学校法人金蘭会学園は今年で創立一〇〇周年を迎えるが、これを記念して、「千里金蘭大学紀要」も一〇〇周年記念の特別号を上梓することになった。

金蘭会学園は、明治三八年（一九〇五年）、当時的大阪府立堂島高等女学校（現大阪府立大手前高等学校）の同窓会「金蘭会」の有志が、女子教育振興のために、私立金蘭会女学校を設立したのを嚆矢とする。爾来一〇〇年、幾多の変遷を経て、現在の千里金蘭大学及び千里金蘭大学短期大学部に至っている。この間、「広く社会に役立つ知識はもとより、教養を身につけ、豊かな人間味を兼ね備えた有為な人材の育成」という建学の精神は、時代を超えて受け継がれてきている。その上に立って、女性の社会進出や社会貢献が一層期待される現在、社会の重要な担い手としての資質をさらに向上させることが本学の教育理念であるといえる。

本学において、このような教育活動を実践するためには、その基礎に充実した研究活動がなければならないことはいうまでもない。これまで三四号を重ねてきた「金蘭短期大学研究誌」は、昨年「千里金蘭大学紀要」第一号に統合された。本誌は、千里金蘭大学生活科学部及び人間社会学部並びに千里金蘭大学短期大学部に属する一四名の教員の論考よりなっており、各教員の研究活動の成果を示すものである。

金蘭会学園創立一〇〇周年を千里金蘭大学における研究活動の新たな出発点として、各教員の研究が今後ますます発展し、斯界に貢献されることを期待している。

平成十七年十月

千里金蘭大学学長

千里金蘭大学短期大学部学長

川島 慶雄